

# わくわく発見 みんなの「学校」



## 旧若宮小学校（現若宮学習館）



### 生涯活躍のまち拠点施設

平成30年3月、66年の歴史に幕を下ろした若宮小学校。子どもたちの学び舎として、その役割を全うしてきましたが、これからは、あらゆる世代の学びの場として、新たな歴史を刻みます。



### 趣ある校舎を生かして

跡地活用については、閉校以来、有識者らでつくる「生涯活躍のまち推進協議会」や地元関係者を中心に方針を協議してきました。令和元年6月にはパブリックコメントを実施し、若宮小学校活用基本計画を策定。改修に係る工事設計が完了し、財源となる国の交付金の採択が受けられたことから、本年度に改修工事を行うことになりました。

現存する校舎は生かしつつ、エレベーターの設置、渡り廊下と南棟へのウッドデッキの増築、トイレの洋式化と多目的トイレの設置、各教室への空調やIT回線設備の整備などに取り組む予定です。

### 4つのゾーンで学ぶ

新しい施設のコンセプトは、「感性を育み『わくわく』を創造する」。「歴史を活かし記憶をつなぐゾーン」、「感性を育むゾーン」、「学びを深め創造するゾーン」、「新たな出会いと発見を生み出すゾーン」という4つのゾーンを設けます。

人生100年時代の到来に向け、子どもから大人まで幅広い世代の人が、自分にとっての「わくわく」を発見し、関わり、創造することができる多目的複合施設として活用する計画です。

「生涯活躍のまち拠点施設」の指定管理者を募集しています。詳しくはP15をご覧ください。

## 今までにない活気 期待

若宮は高齢化率が高く、子どもの声が救いだったので、閉校は寂しかったです。いよいよ工事が始まり、寂しい反面、どんな施設になるかという期待感もあります。新しい施設には、いろんな場所から来てもらえる。地元とは違う人の流れができるので、今までにない活気生まれるのかなとも思います。

子ども対象のスペースで遊んだ子たちが、中高生になったら、勉強場所として2階を利用する。そんな、年齢を重ねても集える場になったらいいですね。その子たちが大きくなって、この地域に住んでくれたら最高！



若宮公民館  
久保 弥生 館長

## 中高生にも使いやすく

若宮小は人数が少なかったけど、みんな仲が良くて、家族みたいでした。運動会は地域の人たちと合同で、学校は地域の人と触れ合う場。児童として学校にいて、地域の人の力になっていたのかなと思ってたから、誰もいない学校の前を通ると心が痛くなりました。

新しい施設が、中高生にも気軽に使いやすい場所になったらいいなと思います。周りからも来てもらえれば、地域も明るくなるんじゃないかな。これまで勉強してきた教室で、今度は新しく始まる別のことに挑戦したいです。



若宮小 最後の卒業生  
塩崎 駿斗君 (西中学校3年)

## 在りし日に思いはせて

ジオラマは、閉校が決まったと聞き、妻と2人で制作しました。閉校を盛り上げるための、僕たちなりの一つのイベントだったんです。実際の校舎を測量して設計図を書いたり、プラスチック棒で大量の窓のサッシを作ったり…。途方もない作業でしたが、若宮小が好きだったからこそ、できたと思います。

新たな施設に展示してもらえると聞いて嬉しかったです。いろんな人たちに見てほしい。特に若宮小の卒業生には、「こんなのあったね」「あの時、ここであんなことがあったな」なんて、通っていた当時を思い出してもらえればいいですね。



若宮小のジオラマ制作  
黒川 真典さん



## 日本一 魅力的な場所に

松山大学経営学部 東瀨 則之 教授

協議会  
座長

若宮地区は中心市街地の一角にあり、ショッピングセンターが近くにあるなど、市民が利用するにはすごく良い立地。同時に落ち着いた雰囲気もあります。小学校の校舎は歴史が感じられ、風格がある。ここを市民の皆さんに使ってもらえる、日本一魅力がある施設にしたいと思いました。

まちづくりは人づくり。人づくり、人を育てるという点で、若宮小学校の思いが繋がっています。小学校という機能はなくなっても、これからはあらゆる年代の人

を育てる人づくりの拠点となります。

すべての年代に使ってもらえる施設ですが、利用者がバラバラに存在するのではなく、それぞれが連携して、相互作用が生まれるようになればいいですね。

まずはこんな施設ができたことを知って、見に来てほしい。思い思いに使ってれば、自然と同じ思いの人たちが集うようになり、新しいオープンなコミュニティが生まれます。ハコモノではなく運用が大事です。この施設を市民も一緒に育ててほしいと思います。



大人も子どもも

# 学んで遊んで弾む心

「生涯活躍のまち拠点施設」の主な活用法をご紹介します。

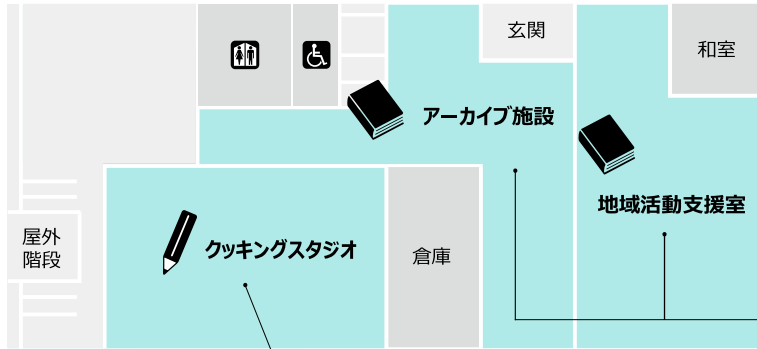
## 北棟

### 1階

☎ 地方創生推進課 ☎ 65-1238

☎ 65-1216

✉ [sousei@city.niihama.lg.jp](mailto:sousei@city.niihama.lg.jp)



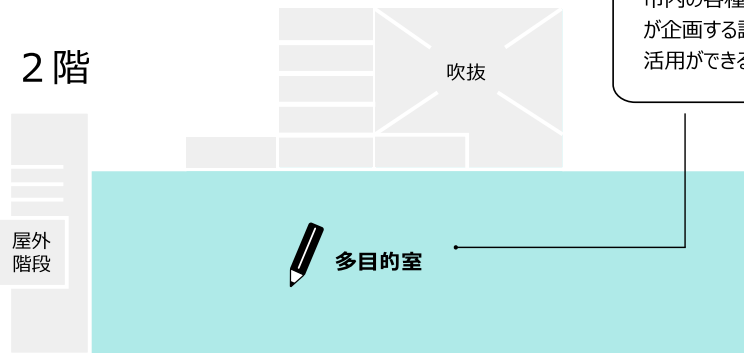
\\ 若宮小のジオラマも！ //

旧若宮小学校の歴史を未来につなぐ資料を展示し、校区の活動を支援し、交流の拠点とします

料理教室のほか、雨天時や団体の飲食スペースとしても活用します

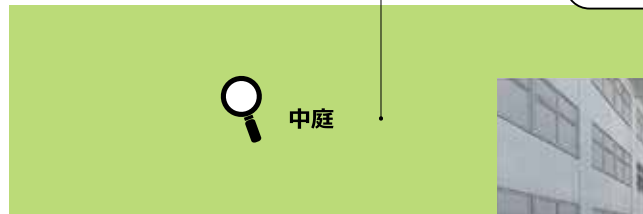
広いスペースを生かしたセミナー、市内の各種団体や指定管理者が企画する講座など、多目的に活用ができるスペースとなります

### 2階



北棟と南棟の中庭は、フードコートスタイルの飲食施設や食事スペースとして活用します。音楽イベントや交流イベントなども開催できるスペースです

## 給食棟



学びを深め創造するゾーン

感性を育むゾーン

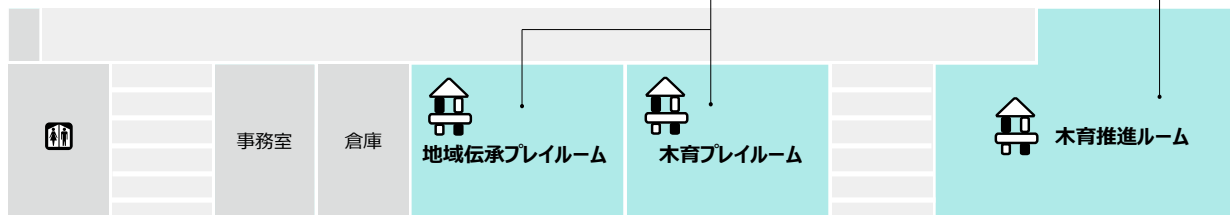
歴史を活かし記憶をつなぐゾーン

新たな出会いと発見を生み出すゾーン



# 南棟

## 1階



木のおもちゃや郷土のおもちゃを活用しつつ、子ども図書館を併設し、多世代交流の拠点とします。乳幼児の遠足にも活用できます

東京おもちゃ美術館とコラボした木のおもちゃで、木のぬくもりに触れながら、乳幼児に遊んでもらえる木育推進拠点です

## 2階



南棟のデッキを上げると、明るいコミュニティスペースが広がります。観光や移住の情報を発信するほか、利用者の休憩スペースにもなります

趣味の講座、木工教室、各種会議、研修に活用できる多目的室です

資格取得に向けた講座をはじめ、スキルアップを目指す人の学びの場となります

個人オフィスやテレワーク、学習スペースとして活用できます

## 3階



5室を整備し、市の活性化につながる事業、拠点施設の活動を支援する事業者をサポートします

防音室を整備し、音楽関係の活動や市民活動を支援します

### 愛称を募集します

施設の正式名称は「新居浜市生涯活躍のまち拠点施設」ですが、より親しみを持ってもらえるよう、愛称を募集します。施設整備の趣旨に沿ったキーワードを参考に、皆さんのアイデアをお寄せください。

- ◇キーワード◇ 別子の森、人生100年、わくわく、大人の学校、チャレンジ、起業、交流、RCC（リ・クリエイト・コミュニティ）
- ◇文字数◇ 15文字以内
- ◇募集期間◇ ～9月4日（金）（愛称決定後、愛

- 称のデザインを募集予定)
- ◇応募方法◇ 応募用紙（HP）かメール（地方創生推進課宛て）
- ◇賞品◇ 採用者の中から抽選で10人にあかがねポイント3000円分